

( 3 ) そら ( 空 )

行動宣言 4 きれいな空気と星空をつくります

環境技術の向上などにより、県内の大気汚染の状況は改善されましたが、最近では、微小粒子状物質（PM2.5）など新たな問題も発生しています。

良好な大気環境を保つためには、環境負荷の少ない交通手段の利用に努めることなどが重要です。

行動メニュー

【個人】

☺	1	徒歩、自転車、電車、バスなど環境負荷の少ない交通手段を積極的に利用します。
	2	自動車を利用または購入する際には、大気汚染物質の排出が少ないハイブリッド自動車（HV）や大気汚染物質を排出しない電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）など低公害車 <sup>8</sup> を選びます。
	3	自動車を運転する際には、急発進・急加速をしないなどエコドライブ <sup>9</sup> を心がけます。

【企業・行政・団体】

		企業	行政	団体
1	硫黄酸化物や窒素酸化物などの大気汚染物質の排出状況を管理し、公害対策設備の設置・運用にあたっては、大気汚染物質の削減効果が高い設備を選びます。			
2	自動車を利用または購入する際には、大気汚染物質の排出が少ないハイブリッド自動車（HV）や大気汚染物質を排出しない電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）など低公害車を選びます。			
3	自動車を運転する際には、急発進・急加速をしないなどエコドライブに心がけます。			
4	低公害車の普及やエコドライブを進めます。			
5	環境負荷の少ない交通システムの導入を進めます。			
6	共同輸配送や物流拠点整備によるトラック輸送の効率化を図ります。			
7	必要で適正な屋外照明を確保しながら、光害（ひかりがい） <sup>10</sup> を防止します。			

用語説明

8 低公害車

大気汚染物質が排出量が少ないまたは全く排出されない自動車のことで、国や本県を含む九都県市では、排出ガスの濃度や量を一定以上低減させた自動車を低公害車に認定し、ステッカーを交付しています。

## 9 エコドライブ

急発進や急加速をしない、アイドリングストップの励行など環境に配慮した運転方法のことをいいます。二酸化炭素や排気ガスを抑制する環境改善効果があり、また、燃料代の節約効果もあります。（参照：神奈川県 HP）

## 10 光害（ひかりがい）

照明器具からの光が照明対象範囲外に漏れる「漏れ光」や人や生物の活動に悪影響を及ぼす「障害光」など、光による影響全般のことをいいます。

（参照：環境省 HP）

### 事例紹介

#### ○ 環境負荷の少ない交通システム

県内の様々な自治体で、パーク&レールライド（鎌倉市）、サイクルアンドバスライド（厚木市他）、レンタサイクル（横浜市他）、ノーカーデーの実施（秦野市他）、など環境負荷の少ない交通システムを導入しています。



鷺尾団地サイクルアンドバスライド自転車駐車場  
（厚木市）



横浜コミュニティサイクル baybike(ベイバイク)  
（横浜市）

### コラム

#### ○ エコドライブ 10 のすすめ

ふんわりアクセル「eスタート」

車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

減速時は早めにアクセルを離そう

エアコンの使用は適切に

ムダなアイドリングはやめよう

渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

タイヤの空気圧から始める点検・整備

不要な荷物はおろそう

走行の妨げとなる駐車はやめよう

自分の燃費を把握しよう



## (4) みず(水)

### 行動宣言5 将来にわたってきれいで豊かな水を確保します

水は生きものの命を育み、私たちの生活に欠かせない非常に大切な資源ですが、地球上に存在する水のほとんどは海水で、地下水や河川、湖沼などとして存在する淡水はわずかにすぎません。私たちは、限られた資源である水を守るため、その重要性を理解し、適切に水を利用することが必要です。

#### 行動メニュー

##### 【個人】

😊	1	水の重要性や水質に関心を持ち、洗剤を使う際には適量を使用するなど、できるだけ水を汚さないようにします。
😊	2	洗濯や風呂などの節水に努め、使った水はできるだけ再利用します。
	3	雨水や地下水が身近な水資源であり、緊急時の貴重な水資源であることを再認識し、雨水や井戸水の利用に努めます。

##### 【企業・行政・団体】

	企業	行政	団体
1			
2			
3			
4			
5			

#### コラム

##### ○ 水を汚さない行動

**【台所】**

分量のある米のとき汁は植木の水やりに。

残さず食べよう。

水切り袋と三角コーナーを利用して、細かいごみをとろう。

食器を洗う前に汚れをふき取ろう。

食器を洗うときは洗剤の使いすぎに注意しよう。

油はできるだけ捨てない努力を。捨てるときは、新聞紙などに吸わせてから。

**【お風呂】**

シャンプー・リンスは適量を守ろう。

お風呂の残り湯はそのまま捨てずに洗濯に使おう。

**【洗濯】**

洗濯は適量を使おう。

くず取りネットを取り付けて、細かいゴミをキャッチ。

**【トイレ】**

こまめに掃除をしよう。洗剤を使ってゴシゴシ掃除する回数は少なくなるよ。

出典：平成19年版 子ども環境白書

○ 生きものの種類でわかる水の汚れ具合

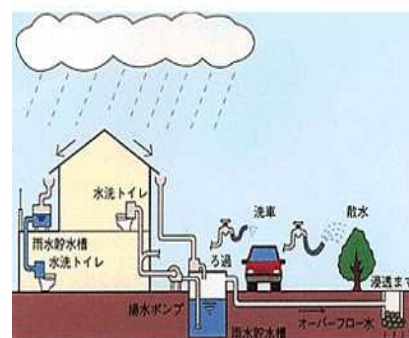
川にすむ生きものの種類によって、その川の水の汚れ具合がわかります。

川の水の よごれ (水質ランク)	きれいな水 ( )	ややきれいな 水( )	きたない水 ( )	とてもきたない 水( )
指標生物	サワガニなど 	ゲンジボタル (幼虫)など 	タニシなど 	オオユスリカ (幼虫)など 

雨水利用について

雨水利用とは、建物の屋根などに降った雨を貯留槽(タンク)に貯め、貯めた雨水を樹木への散水やトイレの洗浄水などに利用することです。

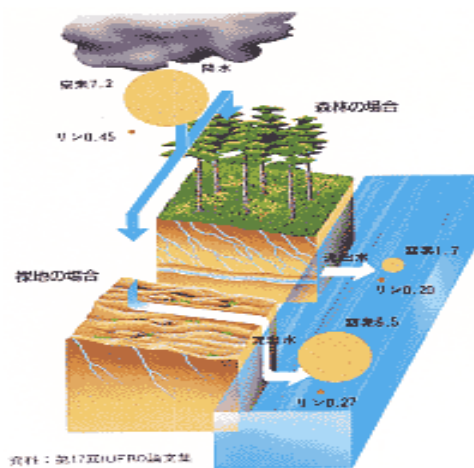
また、大規模な震災などの災害時には、貯めた雨水は貴重な生活用水としても活用できます。



○ 水の浄化機能について

森林は、おもに森林土壌のはたらきにより、雨水を地中に浸透させ、ゆっくりと流出させます。そのため、洪水を緩和するとともに川の流量を安定させるほか、濁りが少なく、適度にミネラルを含み、中性に近い水が森林から流出してきます。

(出典：林野庁 HP)



<多自然川づくり>

ダム湖や水源河川に流入する河川や水路等において、自然豊かな清流を保全するため、生態系に配慮した水辺環境の整備に取り組んでいます。

(出典：神奈川県 HP、国土交通省 HP)



相模原市道保川

## ( 5 ) みどり・つち ( 緑・土 )

### 行動宣言 6 里地里山、森林、水辺の豊かな自然を守る取組を拡大します

里地里山<sup>11</sup>、森林、水辺は、水源のかん養、山地災害の防止、生態系の保全、二酸化炭素の吸収など多面的かつ重要な機能を果たしています。この機能を維持し、次世代に豊かな自然を引き継ぐために、さまざまな主体が連携して、自ら行動していくことが必要です。

#### 行動メニュー

##### 【個人】

😊	1	森林や水辺の生物多様性 <sup>12</sup> を守るため、育てられなくなった生きものを、屋外に放さないようにします。
😊	2	里地里山、森林、水辺を守る活動に関心を持ち、ボランティアなどに積極的に参加します。

##### 【企業・行政・団体】

		企業	行政	団体
1	様々な主体が連携して、里地里山の保全や森林を守る活動に参加・協力します。			
2	森林の多面的機能を発揮させるため、県民や森林所有者等と連携して、森林再生を進めます。			
3	山間地域との交流のため、自然観察会など多くの交流の機会を設けます。			
4	流域の環境を良くするための取組に関する情報の収集・蓄積を行い、これらを広く紹介します。			
5	海、河川、湖沼、湿地などでたくさんの生きものが共存する水辺を再生・保全する活動に参加・協力します。			

#### 用語説明

##### 11 里地里山

里地里山は、集落と農地・水路・ため池・雑木林などが一体となった地域です。こうした地域は、人が「自然」に働きかけ、長い時間をかけて形づくられており、農林業の生産の場や人々の生活の場として、多くの恵みをもたらしてきました。良好な景観の形成、生物の多様性の確保、災害の防止、伝統的な生活文化の伝承、レクリエーションの場の提供と、多面的な機能を発揮しています。

##### 12 生物多様性

生きものたちの豊かな「個性」と「つながり」のことをいいます。「個性」というのは、同じ種であっても、個体それぞれが少しずつ違うことや、それぞれの地域に特有の自然や風景があり、それが地域の文化と結びついて地域に固有の風土を形成して

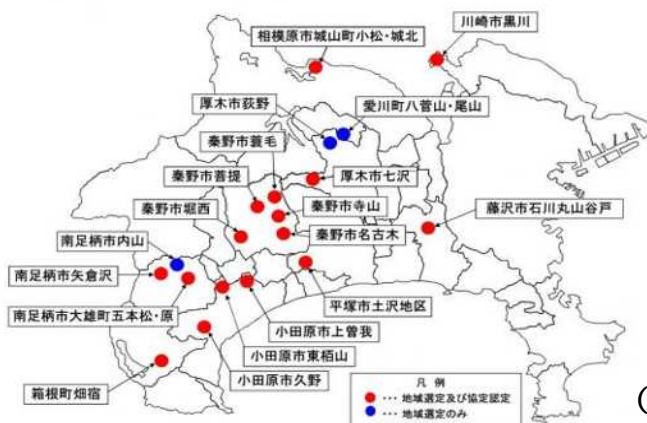
いることです。「つながり」というのは、生物間の食べる-食べられるといった関係から見た食物連鎖や生態系の中でのつながり、生態系間でのつながりなどのことです。

この「個性」と「つながり」は長い進化の歴史により作り上げられてきたものであり、こうした側面を持つ生物多様性が、様々な恵みを通して地球上のいのちと私たちの暮らしを支えています。（参照：生物多様性国家戦略）

### 事例紹介

- 里地里山の保全について  
神奈川県内では里地里山保全等地域が選定されており、様々な保全活動が行われています。

里地里山保全等地域の県内分布図



（出典：神奈川県 HP）

- 里地里山を守る活動の事例  
平塚市土沢地区では、地域住民を主体とした「里山をよみがえらせる会」が里地里山の保全活動を行っています。雑木林を保全・活用して子どもの遊び場として提供したり、耕作放棄された水田を復旧し、田植え・稲刈り体験等を行っています。



土沢地区（平塚市）での体験活動の様子

- 森林を守る活動の事例（森林再生パートナー制度）  
森林の豊かな恵みを次世代に引き継いでいくため、「かながわ森林再生 50 年構想」に賛同する企業団体の社会貢献活動を促進し、協働で森林再生に取り組んでいます。（参照：神奈川県 HP）



寄（やどりき）水源林（松田町）における間伐作業の様子

- みどりを守る活動の事例  
（ナショナル・トラスト運動活動 / 緑の募金活動）  
県民の皆さんからの募金や寄附、緑化協力金など基金に積み立てられた資金でみどりを守る取組が進められており、身近な緑地の保全活動や「緑の募金」による学校や公共的な場所の緑化活動が行われています。



小網代の森（三浦市）

## 行動宣言 7 農林水産業への理解を深め、地産地消の取組を拡大します

農林水産業は、私たちの食料を供給してくれるだけでなく、良好な景観の形成、水源のかん養、自然環境の保全など多面的な機能を提供する重要な役割を担っています。この機能を将来にわたっても維持し、農林水産業を続けていくためには、私たち一人ひとりが農林水産業を理解し、支えていく必要があります。

### 行動メニュー

#### 【個人】

😊	1	市民農園など農業にかかわるふれあいや学習の場に積極的に参加します。
	2	直売所や朝市を積極的に利用し、できるだけ地元の産品を購入します。
	3	ボランティアによる援農、中高年ホームファーマー制度 <sup>13</sup> などに積極的に参加します。
	4	地域の特性や生物多様性に配慮した農業について関心を持ち、理解を深めます。
	5	住宅の新築・リフォームの際には、地域の木材を使うよう努めます。

#### 【企業・行政・団体】

		企業	行政	団体
1	農林水産物のブランド化で県内産品の価値を高めます。			
2	エコファーマー <sup>14</sup> 制度や環境保全型農業 <sup>15</sup> 、資源管理型漁業 <sup>16</sup> を進めます。			
3	県内産品について、生産者と消費者が顔の見えるネットワークをつくり、生産者の生産状況や流通状況を消費者に伝えます。			
4	環境に配慮した技術の指導など、農業者等への支援を行います。			
5	農業や漁業に触れる体験の機会を提供します。			
6	地域の木材を積極的に使った製品の供給や使用に努めます。			

### 用語説明

#### 13 中高年ホームファーマー制度

耕作されていない農地を神奈川県が土地所有者から借り受けて復旧した後、市民農園として整備し、意欲ある県民に貸す制度です。基礎的な栽培技術の研修を受講しながら、約 100 m<sup>2</sup>の畑を耕作し、その後も耕作を希望し、県が耕作可能と認めた方には研修終了後から3年間「中高年ホームファーマー」として、さらに広い面積の農園を耕作します。（参照：神奈川県 HP）



#### 14 エコファーマー

「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、5年後を目標に環境にやさしい農業に取り組む計画を作成し、知事の認定を受けた農業者・法人のことをいいます。（参照：神奈川県 HP）

#### 15 環境保全型農業

農業の持つ物質的循環機能を生かし、生産性との調和に留意しつつ、土づくり等を通じて化学合成農薬や化学肥料の使用等による環境への負荷の軽減と、より安全な農産物生産に配慮した持続的な農業です。（参照：神奈川県環境保全型農業推進基本方針）

#### 16 資源管理型漁業

限りある資源を持続的に利用してゆくため、漁業者・漁業関係者により、水産資源を保護・管理しながら漁獲する漁業形態です。

### 事例紹介

#### ○ 援農ボランティア（茅ヶ崎市）

この制度は、農産物の栽培技術を習得しながら健康づくりを図りたいと考える方に「援農ボランティア」として登録いただき、日々の農作業や農地の管理に人手不足を感じている農家を市が紹介して、農作業の手伝いを通して、農業技術の習得や余暇の充実を図っていただくものです。

（現在の状況：平成 27 年 3 月 31 日現在）

ボランティア登録数 247 名、受入農家数 34 戸、受入成立数 131 件



農業研修講座での収穫の様子

#### ○ 生物多様性に配慮した取組の事例

茅ヶ崎市の団体「三翠会<sup>さんすいかい</sup>」では、水田の生物多様性保全を重視して野鳥や魚類、水生生物などの調査や魚道や水路の改善を進めることで様々な生きものが生息できる水田作りを行っています。



### コラム

#### ○ 地産地消のメリット

食材の輸送距離を減らすことにつながり、輸送に伴う二酸化炭素の排出が少なくなるなど環境への負荷が小さくなります。

地場産物の消費拡大につながり、地域の活性化にもつながります。

生産者の顔が見えることで、食の安全・安心につながります

新鮮でとれたての食材が手に入り、旬を知ることができます。

（参照：神奈川県 HP）



## かながわブランド

かながわブランドは、組織的な生産体制に基づき、品質、生産量並びに供給体制の向上及び安定を目指す県内産農林水産物及びその加工品で、平成 27 年 3 月現在 56 品目、83 登録品があります。



## ○ かながわ県産木材認証マーク

木材小売業、大工・工務店、建設業、市町村、県民に広くかながわ県産木材を使っていたくため、県産木材に認証マークの表示をしています。

かながわ県産木材品質認証マーク かながわ県産木材認証マーク

